

有力FX企業17社の月間データランキング-2016年12月-

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にてFX(外国為替証拠金取引)店頭取引市場における有力企業17社^{*1}のアンケート調査を実施した。(有力FX企業月間ランキング-2016年5月より、調査対象企業が1社増加したため2016年1月に遡り、各データを再集計し、更新した)

1. 調査期間:2017年1月
2. 調査対象:FX業界大手、有力企業のうち社名又は数値の公表を前提として、協力を得られた17社を対象とした。
一部の企業で、統計数値や社名について非公開のものもあるため、集計対象が17社にならないものもある。
※社名及び数値を非公開とする企業は、集計の際、「その他」としてランキングから除外した。
3. 調査方法:当社専門研究員によるe-mailによるアンケート調査

【調査結果サマリー】

◆ 企業単体集計の2016年12月の預かり残高第1位はGMOクリック証券、第2位は外為どっとコム

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ^{*2}、第2位はGMOグループ^{*2}

2016年12月末の有力FX企業16社^{*1}の預かり残高の合計は、8,617億円であった。12月は本調査対象企業16社中5社(その他企業1社含む)で預かり残高が増加したが、前月比20億円減(0.24%減)となった。

◆ 企業単体集計の2016年12月の口座数の第1位はDMM.com証券、第2位はGMOクリック証券

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ^{*2}、第2位はGMOグループ^{*2}

2016年12月末の有力FX企業17社^{*1}の口座数の合計は、425万口座であった。12月は前月比3.5万口座増(0.83%増)となった。本調査対象企業17社すべてで口座数が増加した。

◆ 2016年12月の取引高の第1位はGMOクリック証券、第2位はDMM.com証券

2016年12月の月間取引高は、有力FX企業13社^{*1}の合計で290兆円(百万通貨は1億円として換算)であった。12月は前月比66.9兆円減(18.71%減)であった。本調査対象企業13社すべてで取引高が減少した。

(*1. 集計対象は、預かり残高16社、口座数17社、取引高13社、いずれも無回答を除く。)

(*2. SBIグループはSBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレード3社の店頭取引の合算値。GMOグループはGMOクリック証券、FXプライム by GMOの店頭取引の合算値。)

★ご注意:本ランキングは、情報提供を目的としており、投資その他の行動を勧誘し、特定企業を推奨するものではありません。

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝

設 立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

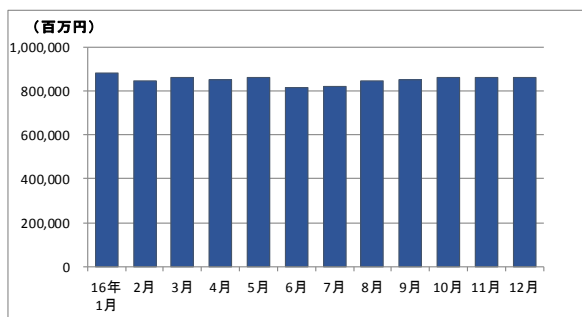
本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

プレスリリース

【 預かり残高 】

●企業単体における預かり残高ランキングの第1位はGMOクリック証券で1,171億円、第2位の外為どっとコムは1,105億円。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(1,697億円)、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(1,324億円)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はヒロセ通商(2.11%増)。次いで上田ハーロー(0.93%増)であった。

図表 1. 預かり残高推移と12月月間ランキング



(単位：百万円、%)						
預かり残高 順位	社名	2016年11月	2016年12月	増減額	前月比	増加率 順位
1	SBIグループ	168,684	169,704	▲1,020	0.60	3
2	GMOクリック証券	117,881	117,141	▲740	▲0.63	
3	外為どっとコム	110,977	110,530	▲447	▲0.40	
4	DMM.com証券	95,481	95,015	▲466	▲0.49	
5	ワイジェイFX	93,454	92,131	▲1,323	▲1.42	
6	セントラル短資FX	64,023	63,757	▲266	▲0.42	
7	マネーパートナーズ	60,882	61,201	319	0.52	4
8	ヒロセ通商	37,495	38,288	793	2.11	1
9	FXプライムbyGMO	15,488	15,306	▲182	▲1.18	
10	トレイダーズ証券	11,935	11,743	▲192	▲1.61	
11	上田ハーロー	11,439	11,545	106	0.93	2
	その他(3社)	76,129	75,429	▲700	▲0.92	
	合計	863,868	861,790	▲2,078	▲0.24	

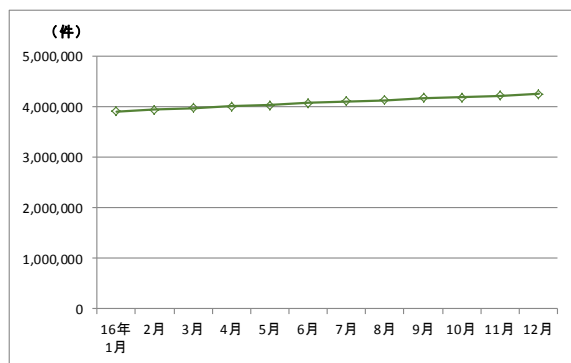
注1. 集計対象は無回答1社を除く16社の合計値。その他には3社含まれる。

矢野経済研究所調べ

【 口座数 】

●企業単体における口座数ランキングの第1位はDMM.com証券で55.0万口座、第2位のGMOクリック証券は46.6万口座。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(85.9万口座)で、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(63.6万口座)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はSBIグループ(1.53%増)。次いでDMM.com証券(1.12%増)であった。

図表 2. 口座数推移と12月月間ランキング



(単位：件、%)						
口座数 順位	社名	2016年11月	2016年12月	増加数	前月比	増加率 順位
1	SBIグループ	846,545	859,536	12,991	1.53	1
2	DMM.com証券	544,345	550,428	6,083	1.12	2
3	GMOクリック証券	463,217	466,630	3,413	0.74	4
4	外為どっとコム	434,076	435,897	1,821	0.42	9
5	ワイジェイFX	318,418	320,644	2,226	0.70	5
6	マネーパートナーズ	289,389	290,820	1,431	0.49	7
7	トレイダーズ証券	279,922	281,364	1,442	0.52	6
8	マネックス証券	232,764	233,779	1,015	0.44	8
9	ヒロセ通商	193,995	195,867	1,872	0.96	3
10	FXプライムbyGMO	169,523	169,999	476	0.28	10
11	セントラル短資FX	164,080	164,355	275	0.17	11
12	上田ハーロー	53,003	53,005	2	0.00	12
	その他(3社)	229,583	231,671	2,088	0.91	
	合計	4,218,860	4,253,995	35,135	0.83	

注2. 集計対象は17社の合計値。その他には3社含まれる。

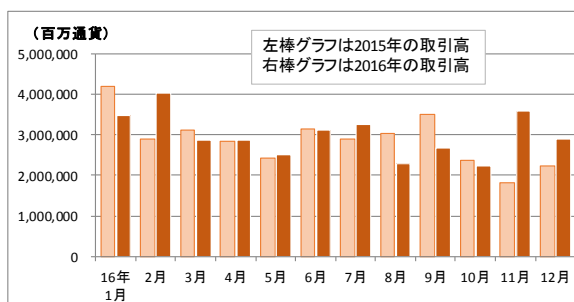
注3. ヒロセ通商の口座数には、バイナリーオプションの口座数が含まれる。

矢野経済研究所調べ

【 取引高 】

●月間取引高ランキングの第1位はGMOクリック証券で103.5兆円(百万通貨を1億円として換算)、第2位はDMM.com証券で74.7兆円(同)であった。

図表 3. 月間取引高推移と12月月間ランキング



(単位：百万通貨、%)						
取引高 順位	社名	2016年11月	2016年12月	減少額	前月比	増加率 順位
1	GMOクリック証券	1,274,062	1,035,534	▲238,528	▲18.72	
2	DMM.com証券	904,779	747,885	▲156,894	▲17.34	
3	ヒロセ通商	386,725	305,203	▲81,522	▲21.08	
4	ワイジェイFX	332,027	268,346	▲63,681	▲19.18	
5	外為どっとコム	328,861	264,721	▲64,140	▲19.50	
6	FXプライムbyGMO	109,936	99,459	▲10,477	▲9.53	
7	マネーパートナーズ	96,989	76,584	▲20,405	▲21.04	
8	マネックス証券	42,723	29,545	▲13,178	▲30.85	
	その他(5社)	102,807	82,106	▲20,701	▲20.14	
	合計	3,578,909	2,909,383	▲669,526	▲18.71	

注4. 集計対象は無回答4社を除く13社の合計値。その他には5社含まれる。

注5. GMOクリック証券、FXプライム by GMOはカーをして同業他社等、マネーパートナーズはCFD(差金決済取引)、ヒロセ通商はホリトラベルを含む。

注6. マネックス証券は、証券単体の店頭取引の公表数値に営業日数を乗じて弊社で算出し、単位を億円で表記。

注7. 百万通貨は1億円として換算。

矢野経済研究所調べ